

アイヌタイムズ 第47号 日本語版

★ 第12回アイヌ語弁論大会にて

2008年11月15日にむかわ町で、第12回アイヌ語弁論大会(イタカンロー)が開催されました。私も行って「国際言語年」の話をしました。

今回まで5回、弁論大会で色々な話をしました。その話は、「エスベラントで書かれたアイヌ神謡集の話」(第11号)、「マックと言われるパソコンのアイヌ語ローマ字カナ変換の話」(第28号)、「銀ギツネの話」(第34号)、「ミソザサイの話」(第33号)です。

今回は、「ユネスコであった国際言語年の話」をしました。弁論大会の中で私の話はアイヌタイムズで書いたものから選んでいま

す。アイヌタイムズ第11号で初めて書いて、第45号まで32の話を書きました。この国際言語年の話は第44号の話です。

アイヌタイムズの編集会議の皆さんの協力のおかげで、私が書いた話がよいものになったので感謝しています。アイヌタイムズは、書きたいと思ったことを書けるので、とても楽しいものとなっています。アイヌタイムズを読んでいる皆さんも話を書く決心すればできると私は思います。ご参加ください!

書きたいと思うことが、このようにうまく書くことができたので、弁論大会でなんとか

優秀賞をもらうことができました。とてもうれしく思っています。ありがとうございました！

[横山 裕之] 沙流・千歳
